

事業の見直しで健全財政を

決算審査では、前年度予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを議会で審査し、改善点の指摘や要望をします。

令和5年度の一般会計、5特別会計の決算は、10月15日～16日の2日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く6名で構成された決算審査特別委員会（小野田委員長・窪田副委員長）で審議しました。

採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。

※収入未済額は昨年に比べ82万円減少し、1,723万円になりました。

公平・公正を原則として、未収金徴収の更なる努力を求めます。

歳入の獲得としてふるさと納税などに精度を上げて取り組み、歳出経費の抑制を進め、町民福祉の向上を高められるよう要望します。

※収入未済額とは…予定される収入金額を決定した後、期限までに納入されなかった金額。

令和5年度一般会計決算額（万円未満四捨五入）

歳入 46億9,144万円（前年度より▲1億5,425万円）

歳出 45億5,892万円（前年度より▲1億5,783万円）

一般会計と特別会計における基金残高と町債残高

町の貯金（基金）
46億8,613万円

町の借金（町債）
41億9,361万円



決算の詳細は、
広報わっさお
12月号で

令和5年度各会計歳入歳出決算の審査を、8月21日から23日まで監査委員2名で行いました。

結果は、コロナ禍の影響も少なく、事務事業や各イベントも行われ、相応の行政成果が達成されたものと評価し、予算執行はおおむね適正に行われているものと判断しました。

今後も基金や有効財源を活用し、多様なサービスを広く町民が受け、生活満足度がより一層高められるよう各種施策の展開を期待すると審査意見書を報告しました。



議会選出監査委員
村岡 敏一



代表監査委員
村井 清一

決算審査の意見



一般会計の収支 + 1億3千万円

財政は黒字

来年度予算へ反映を

＝ 安心して住み続けられるまちへ ＝

ふくしのまちづくり

Q ふくしのまちづくり基本構想策定後に、入所定員48名が45名に見直されるなど内容に変更が生じている。経営は社会福祉法人ゆうゆうが行うが建設費は町が負担する上で、実施設計のチェックをする必要があるのではないか。

A 建物などの実施設計は、民設民営のため社会福祉法人ゆうゆう側の裁量。

それに対する予算案は、当然議会のチェックが必要となる。
民設民営だが、その法人のやりたい方向性、継続性、収益性などに対して支援する考え。

光回線の悪質勧誘

Q 1市3町（土別市・剣淵町・幌加内町・和寒町）で構成している消費生活行政広域化連絡会議への相談14件の具体的内容は、その後、解決されたか報告は受けているか。

A 例えば、電話勧誘でインターネットを光回線に変更すると安くなると言われ、申し込むと高額だったなどの相談がある。

消費生活相談員から被害に遭われた方への助言や、直接その勧誘先へ連絡するなど対応し、基本的には全て解決している状況。

介護福祉の学費補助

Q 外国人介護福祉人材育成に280万円をかけるのであれば、福祉の仕事に興味のある国内の子どもたちのために学費の補助など考えたらどうか。

A 国内の学生に限らず、外国人の人材確保も大変厳しい現状。介護人材の確保と定着支援は、学費補助も含めて幅広く検討していく。



▲町内と札幌近郊の中高生が参加したふくしのワークキャンプ

通学費補助の継続を

高校通学費補助

Q 先日、PTAとの意見交換会では高校生の通学費補助継続の要望が多かった。

「最近では、何でもふくしのまちづくり」との声もある。本町の子どもたちのためにも、通学費補助を継続できるか。

A 継続を考えていきたいが、現状を把握し対応する。

和寒保育所の一時保育

Q 家庭内保育が増えたことで一時保育の利用が増えたところがあるが、利用希望に対して断ることはあったか。

A 年明け1月から、保護者のリフレッシュを目的とした利用は週1回と限定した。病院などの用事がある場合は、利用希望を断らず受け入れている。

ふるさと納税

Q ふるさと納税サイトページ改修の具体的内容は。

A 寄付申し込みが一番多い楽天サイトのトップページにおすすめ返礼品などを表示し、検索エンジン最適化（SEO対策）を実施した。

楽天サイト検索時に、本町返礼品上位の商品が最初のページに表示されるような対策を行った。

寄付額アップで財源確保

墓地の管理



▲通路部分しか草刈りしていない西和墓地

Q 西和墓地の草刈りを業者委託したところ通路部分しか行われず、地域の方が処理した。

今後、業者委託の契約内容をどう考えているのか。

A 墓地全面を業者委託すると莫大な金額になるため通路のみ作業を実施した。

今後契約を見直し、地域の方に行っていたのであればお願いしていきたい。

橋梁長寿命化事業

Q 高速道路を横断する跨線橋なども古くなっている。修繕する場合の補助金はあるか。

A 橋梁長寿命化計画に基づき段階的に修繕している。国に要望し、補助金を受けて補修できるよう検討する。

息子が士別翔雲高校で野球部に入っていますが、道具や遠征費の負担が大きいので通学費補助は大変助かっています。

ほそかわ しげかず 重一さん、かなこ 圭奈子さん（西町）



エアコン設置で利用料金見直し

研修館検



▲素泊まり3,700円（税込）の研修館検

Q 宿泊料金が上がったとしても、部屋の冷房はサービスとして必要では。

A 昨年業者に確認したが、研修館検の電力を受ける容量が限界とのこと。
少しでも良い方法がないか検討していきたい。

エココテージ

Q コロナ後エココテージの利用客が増え、研修館検も利用客がかなり増えているので、利用客を取りこぼさないため指定管理者であるスポーツ協会との連携が必要と考えるが、現状は。

A 明確な連携はないが、エココテージの予約が埋まっていたら、ほかの宿泊施設として研修館検を案内している。

自治会館エアコン設置

Q 避難所になっている自治会館にエアコンの設置を希望する声が多いが、考えは。

A エアコン設置は難しい部分もあるが、どこまで支援できるか来年度以降も自治会と相談しながら検討していく。

札幌自由が丘学園 三和高校

Q 今年4月から学校法人化した。法人側に旧三和小学校の校舎を無償貸与し、浄化槽負担金も自治会と案分している状況ならば、施設を譲渡しては。

A 学校法人化しても月に2回は三和に来て、校舎の位置付けは変わらない。譲渡は難しいが、施設の維持管理や運営状況を踏まえながら今後協議していく考え。



▲札幌自由が丘学園三和高校から
北海道教育学園三和高校へ名称変更

令和5年度決算 一般会計 討論

反対 石田 利美 議員

ふくしのまちづくり基本構想・基本計画が理解できない。学校や保育所給食の件もなくなり、ユニット数も4から3、入所定員も48名から45名に減ることになった。

民設民営で町としての要望はどこにあるのか、最終的にどうなるか、いまだに見えてこない。

賛成 酒向 勤 議員

若生苑の建て替えにあたり、社会福祉協議会が正式に運営できないと表明し、民間法人にお願いした。

今後、計画を進める中で、ささいな変更は出てくる。

5年後、10年後になれば、この規模の計画はできない。本町の財政に余裕のあるやらないと。

全議員8名で決算を採点 令和5年度決算の評価

予算がどのように使われ、結果はどうなったのか。
決算審議後に各議員が点数をつけ評価しました。

平均

78点

決算は 82点

遠山 優太議員
とやま ゆうた



ふるさと納税の推進 で財源確保を

ふるさと納税サイトのページ改修や検索エンジンの評価を高めるSEO対策で寄付件数増加に期待！

決算は 80点

中原 浩一議員
なかはら こういち



各事業コロナ禍明け で再開、効果を検証

縮小・中止していた各種事業の歳出効果を判断。コロナ交付金が終了することで、財政も厳しく、歳入に注目。

決算は 81点

池澤 哲也議員
いけざわ てつや



ふくしのまちづくり は民設のメリットを

町民の意見を反映した基本構想は評価。今後基本設計作成では民設民営のメリットでもある建設コスト削減に注視。

決算は 55点

石田 利美議員
いまだ りみ



ふくしのまちづくり 基本構想・基本計画

民設民営での福祉施設の建て替えが進んでいるが、今の段階で補助金が一割も無い。今後の町の財政が心配だ。

決算は 83点

村岡 敏一議員
むらおか としいち



単年度黒。でも実質 は基金取崩で赤

歳入は減少、一般財源支出は増。財政構造の自由度の制限値は超過。福祉施設建設に向けて基金運用案を早期に。

決算は 80点

酒向 勤議員
さこう つとむ



大局観なくコロナ後 スロースタートか

物価高騰対応で水道料金の減免、子育て応援商品券などあったが、高齢者への祝い金の減額を残念に思う。

決算は 75点

小野田 久美子議員
おのだ くみこ



町の負動産を売払い 収入増と活性化を

人口減・高齢化で税収が減っている。未利用の町有財産である土地建物を売払い、移住定住の促進につなげては。

決算は 84点

窪田 裕二議員
くぼた ゆうじ



今後のふくしのまち づくり構想に期待

ふくし構想はこれからが重要になってくる。期待と不安がある中で行政にはより一層丁寧な説明を求めたい。